



We are!!

We are!! (ウィーアー!!)とはツエーゲンサポーターが発行するフリーペーパー、写真に撮ってSNSへアップ大歓迎!

今回はパイロット版として、Z-BLITZ代表の井上さん、コールリーダー達からのホーム最終戦を迎えてのメッセージです。

第40節 ツエーゲン金沢 vs 栃木SC

皆さん、こんにちは！Z-BLITZ代表の井上です。

思いもよらない事態となった今シーズン、サポーターの想いをいかにして選手に伝えるかを模索し続けた1年でもありました。

拍手・手拍子に太鼓、そしてメッセージ断幕…徐々に緩和されたとはいえ、声に出してメッセージを伝えられないもどかしさを痛感しましたね。

特に新入団の選手たちや、初ゴールを決めた選手たちへのコールやチャント…

あー カー杯、歌ってやりたかったなあー **(特にアルウィンで)**

しかし、こんなシーズンだからこそ、気付いた事・感じた事もあったと思います。

変則日程も相まって、選手たちは本当にコンディション調整が大変だったと思いますが、必死に闘う姿を見せてくれました。

いよいよ今日が、ホーム最終節。この苦しいシーズンを闘い抜いた選手たちに敬意と感謝を込めて、精一杯の後押しをしましょう！

今日も宜しくお願い致します！！

こんにちは！ コールリーダー長のてつです。いよいよホーム最終戦になりました。

思い返せば、今シーズンは基本的に若いコールリーダーにリードを任せて、ゴール裏のいつもとは違うエリアやバックスタンドなどに行き、普段なかなか接することのできないサポーターさんに自分の考えを伝えたりいろいろな方々の思いを聞いてより良いゴール裏作りを、と考えていた1年でした。

しかしこのような状況になってしまい、何をすることも難しいシーズンになってしまいましたね。

得点が入り勝利してみんな喜び合ったり、失点を重ねて敗戦した後に選手達を鼓舞したり…普段当たり前だった事が出来ないのは本当に歯がゆかったですよね…(自動昇格はあったけれど)プレーオフも降格も無いシーズンで、自分自身正直あまり“アツク”なることのないシーズンだったなあ。

やっぱりサポーターとしての生き甲斐は声を出して選手と共に喜怒哀楽を表現することなんだなあ とつくづく実感しました。来シーズンどこまで規制が緩和されるかは未だ不透明です。

でも新しいシーズンはやってきます。

これまで無かった手拍子メインの応援や、声を出す以外での応援方法をもっともっと模索して、いざチャントや声出しが解禁された時にこれまでよりパワーアップしたゴール裏になっているためにこれからも我慢の日々ですが皆さんで頑張りましょう！

まずは今日のホーム最終戦に勝って残り2試合にも連勝して、3連勝・5試合無敗で笑ってシーズンを終わろう！俺達はいつも共にいる！

こんにちは、コールリーダーの圭佑です、今期は序盤からリーグが中断し、再開後も多くの制限の中で満足な応援ができなかったシーズンでした。

チームが苦しい時に声をかけてやれない、用意したチャントが歌えなかった状況が辛かったです。

なんとか試合は消化出来そうですけど、個人的に気持ちはずっと消化不良なままです。きっと来年もしばらくはこの状況が続くと思います。けれども、再開後初の有観客試合を観戦した時、改めて現地で観戦する楽しさを感じました。

現地で観戦することは、真剣勝負の場に立ち会う事だと思っています。

そしてスタジアムにいる人全てが、試合に影響を与える存在だと思っています。

今は近くで試合を観ていても声を出すことは出来ないけど、スタジアムにいただけで必ず選手の力になるはず。でも現状の観客数は、規制が緩和していても増えないままなのが一番心配です。

クラブも対策をしながらツエーゲンを盛り上げようとしているので、僕達も共に盛り上げていきたい。今現地で応援している僕達ができる事は一人一人の感染対策と新しい観戦ルールを守ること。感情的になって大声を出す等、無意識に起こす行動の中に気をつけなければいけない所がたくさんあります。

みんなでルールを守って安全性を高く保ち続ければスタジアムを少しずつ赤く埋めていけます。本当に応援できる環境に戻るためにできることを心がけていきましょう。来年もチャントを作って準備します。忘れないように覚えてくださいね！

コールリーダーの真野です。今シーズンも残りわずかとなりました。まだ気が早いですが、今年は皆さんにとってどんな1年でしたでしょうか。

過密日程の中、選手が苦しい時もスタジアムに行けず、観客を入れてからもクラブのみ。

サポーターとして大変もどかしいシーズンだったと思います。私自身、県民でも県内出身でもなく仕事の関係もあり開幕戦以降はスタジアムに足を運ぶことができず、コールリーダーとしてサポーターとして何もできませんでした。

新しいチャントを作り毎年のように万全の準備をして挑んだ2020年。

【毎年ツエーゲンをスタジアムで応援できることは当たり前じゃない】

今シーズンを通して、感じたことです。でも、今はこうしてスタジアムに観客が入り、声は出せませんがサポーターの笑顔が戻ってきました。全国の医療関係者含め、Jリーグ、クラブスタッフ、そしてサポーター1人ひとりの協力、助け合いのおかげだと思います。全ての人に感謝致します。

さて、残り3試合。ホーム最終戦。最後まで金沢らしく！ピンチの時もチャンスの時も俺たちができることを全力でやりましょう！またこうして、ツエーゲンを応援できることに感謝して、来年につながるゲームにしましょう！！

編集後記

原稿をお願いしたのがアウェイ福岡戦（12月6日）の翌日という、ふざけたスケジュールにも関わらず、文章を書いてくれた4人には感謝申し上げます。

来シーズンも発行…できたらいいなあ。（担当：新川）